

# 週報

2022年度 教会標語

「礼拝に支えられ、共に生きよう！」

## <先週の説教から>

『ヘブライ②一掟ではなく、命の

力によって』 武田真治牧師

エレミヤ 31:31~34 ヘブライ書 7:11~22

この手紙の宛名であるヘブライ人とは、旧約聖書及びそれを聖典とするユダヤ教の伝統や生活習慣に生きていた人たちです。彼らの日常は律法によって生活の隅々まで規定されていました。それは旧約聖書に記されている十戒を中心とする記述律法だけでなく、むしろ口伝で伝えられていた詳細な口伝律法（ミシュナー＝反復）によるところが多くありました。マルコ福音書7章で「ユダヤ人は皆、昔の人の言い伝えを固く守って、念入りに手を洗ってからでないと食事をせず」と言われている「言い伝え」がまさにミシュナーで、繰り返し小さい時から聞かされていた戒めや掟でした。イエス様はこのような状況を批判され「その心が（神様から）遠く離れている。人間の戒めを教えとしておしえ、むなしく（神様を）あがめている」と。今日の箇所も同じ流れにあります。即ち「いったいどうして、アロンと同じような祭司ではなく、メルキゼデクと同じような別の祭司（＝イエス様）が立てられる必要があるでしょう。祭司制度に変更があれば、律法にも必ず変更がある」と。モーセの兄であるアロンから始まるレビ人の血筋を持つ者が祭司に任命されて来ましたが、血筋に拠らないイエス様が真の新しい大祭司として神様から与えられたという事実は、元をたざせば口伝も含めて旧約の律法そのものもはや通用しなくなったことを主張しているのです。当時のユダヤ人にとっては画期的な言葉でした。

その上で、イエス様が新しい大祭司として任命されたことを「この祭司は、肉の掟の律法によらず、朽ちることのない命の力によって立てられた」と教えてくれています。この「朽ちることのない命」とはまさに“復活の命”のことを指しています。イエス様は十字架上で死んだ後、死から蘇られました。まさに“死”を滅ぼされました。ここで「朽ちることのない命」だけでなく、更に「の力」と言われていることが大事です。この「力」は（ドゥーナミス）であり、御存じの通

り、後のダイナミトの原語です。まさに“突破する力”です。“命”が“死”を打ち破ったのです。そして、イエス様は天へと昇られ、後に続く者たちのために天への道を開いて下さったのです。その「命の力」が、私たちにも注がれ、導き、死を超えさせてくださるのです。

そして更に「わたしたちは、この希望によって神に近づくのです」とあるように、復活の力によって、死を越えて、天のみ国におられる神様にいつか“顔と顔とを合わせる”時が待っているのです。その道を開いて下さったのがイエス様であり、故に真の大祭司なのです。旧約の大祭司は血筋によって任命されていました（＝肉の掟）。しかし、死を越えて復活に生きる者たちには、この地上の血筋などもはや意味も持ちえませんが、イエス様こそ、天の玉座から今も私たちを守り、導き、天へと迎えてくださる《永遠の大祭司》なのです。

\*\*\*\*\*

### 【今週の集会】

◎聖書研究・祈祷会 I. 8月17日（水）20:00  
II. 8月18日（木）10:30

聖書：ハイデルベルク信仰問答  
祈祷主題：日曜学校を覚えて  
担当者：（水）松田 （木）勝村  
祈る人：羽倉さん 藤林さん

### 【教勢報告】

主日礼拝 男 20 女 50 計 70  
祈祷会 I. II 休会  
日曜学校 幼稚科 2 小中科 7 計 9

\*\*\*\*\*

### 【次週礼拝】 8月21日（日）

聖書：イザヤ書 38:15~19  
ヘブライ人への手紙 7:20~28  
説教：「ヘブライ② — まことの大神」  
武田真治 牧師  
讃美歌：215(1)、32(1)、415(1と2)、  
358(1と4)、92(1)

### 【次週当番表】

司式：齋藤長老 奏楽：村上 礼拝：茨木長老  
献金：寺本くみか、富澤 受付：飯島、吉岡  
会堂準備：小杉、富澤、長田、橋本  
北條宏子

看板：曾我 週報：吉岡 お花：休み

### 【次週集会予定】

礼拝前：求道者会、聖書輪読会  
礼拝後：オリブの葉編集委員会、日曜学校教師会：幼稚園理事会：聖歌隊練習

2022年 8月 14日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&amp;FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>